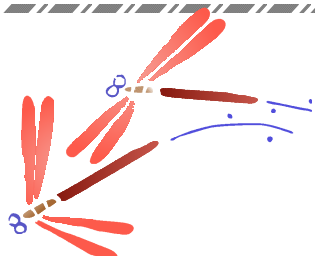




# 学校だより

第6号

平成29年9月29日発行



## 小学部学校間交流を通して

教頭 鈴木 春雄

2学期が始まり、1か月が経ち、日暮れも早くなり、学校周辺はあっという間に薄暮に包まれるようになりました。学校から見える田んぼ越しの夕焼け空は、とても綺麗で何度も足を止めてしまうほどです。残暑もようやく和らぎ、児童生徒の皆さんにとっても、学習活動に取り組みやすい季節になってきました。

そんな中、小学部の高学年児童が9月20日（水）に東金市立正気小学校との学校間交流を行いました。私もスクールバスに同乗し、交流の様子を見てきました。

同小学校との交流は今年で2年目ということで、歴史はまだ浅いですが、体育館で同校の4年生約70名が温かく迎えてくださいました。挨拶を交わした後、リコーダー伴奏を交えた合唱でもてなしていただき、本校からは、日頃取り組んできた「スマイル」の歌や「ちびまる子ちゃん」のダンスを披露。場が和んできたところで、「じゃんけん列車」のゲームで全員がじゃんけんして、勝った人の後ろに負けた人がどんどん繋がっていき…両校合わせて90人近くのチャンピオンが決まります。3回やったのですが、なんとそのうちの2回を本校児童が優勝し、その喜びようといったら！最後は本校から持参したバルーンを使い、大きな輪が三つでき、音楽に合わせて揺らしながら、一体感を味わいました。

それぞれの活動にあたっては正気小学校児童が本校児童のペースに合わせてくれたり、優しく気遣ってくれる場面があちこちで見られました。一方で本校児童も気後れすることなく、伸び伸びと関わっている姿が見られ、短いながらも充実した時間を送ることができました。

学校間交流は本校の児童個々にとって、経験を広げたり、同年代の子どもたちと関われる貴重な機会の一つですが、相手校の児童にとっても、是非意味のある活動であってほしいと思います。この日の交流活動の内容や感じたことについて、周りの子どもたちや家族と話題にさせていただくことで、本校のことや、さらには障害に対する関心や理解を広めていくことにつながられるからです。

2学期は、学校祭の「やまもも祭」を始めとする行事がたくさんあり、地域の皆さんとの交流の機会も増えますが、これらの一つ一つを大切な機会と捉え、本校の児童生徒の「かがやく瞳」と「ひかる汗」をより広く知っていただけるように取り組んでまいります。どうぞ保護者の皆様も、御協力のほどよろしくお願いいたします。